

2026年度 JICA 北海道(帯広) 研修員学校訪問募集要項

主 催：独立行政法人 国際協力機構 北海道センター(帯広)

実施団体：十勝インターナショナル協会

後 援：北海道教育庁十勝教育局

帯広市教育委員会

1. 目 的

- 1) 学校現場における「国際理解教育」を支援するため、地域の児童・生徒と、開発途上国から来帯している JICA 研修員が直接交流する機会を提供し、開発途上国や異文化・多文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築くことを目的としています。
※語学習得(特に英語)をねらいとするものではありません。
- 2) JICA 研修員が児童・生徒との交流を通して、日本文化・日本人とのコミュニケーションを実体験し、日本について理解を深める機会を提供します。
- 3) JICA 事業及び JICA 北海道(帯広)について、地域の児童・生徒に理解を深めてもらうことも期待しています。

2. JICA 研修員とは？

JICA の実施する技術協力の一環として、開発途上国からの要請に基づき、日本で専門的な技術を学ぶために来帯している途上国の行政官や技術者等です。アジア・アフリカ・中南米・大洋州等さまざまな地域や国が含まれます。年間約1万人以上に及ぶ研修員が来日し、2026年度は JICA 北海道(帯広)で 300 人程度の研修員を受け入れ予定です。

3. 内 容

JICA 研修員が学校を訪問し、学校側が企画したプログラム(遊び、学習発表、調理実習、研修員による国紹介等)に基づき児童・生徒と交流します。当日は原則、本事業の委託先(十勝インターナショナル協会)の職員が同行する予定です。

※同行職員は、研修員の引率や緊急時のサポートを目的としています。プログラムの司会・進行及び、通訳は行いません。

4. 交流プログラム

- 1) 受け入れる学校が主体的に企画し、本事業の委託先(十勝インターナショナル協会)と調整しながら組み立てます。 **※当日は学校側の進行のもと実施ください。**
- 2) JICA 研修員は講師ではありません。
※本事業は JICA 研修員による出前講座ではないことを予めご了承ください。
プログラムの作成につきましては、児童・生徒が日本の遊びや学校行事を研修員に紹介するなど **体験型を重視したプログラム構成をお願いいたします。**
- 3) アイスブレイクや体験型プログラムの具体的な事例につきましては、JICA 北海道(帯広)ホームページで公開しておりますのでご参考ください。 <https://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/haken.html>
【JICA 北海道(帯広)ホーム⇒事業の紹介⇒開発教育/国際理解教育⇒JICA 研修員の学校訪問】

5. 研修員の言語

JICA 研修員の多くは基本的な英語会話能力を持ちあわせていますが、英語が母国語ではありません。当日の通訳及び学校が作成する資料の翻訳等は原則学校側で対応していただきます。児童・生徒が 2 つ以上のグループに分かれて交流する場合など、対応が難しい場合はご相談ください。

また、一部の研修員はスペイン語等、母国語のみの場合がありますが、その場合は対象言語の通訳(研修監理員)が同行し、交流のサポートをします。



6. 事前・事後学習

- 1) 交流の前には JICA が提供している以下の映像教材をご覧ください、JICA 事業に関する予備知識を得て頂くことを推奨しております。
●【教育】世界につながる教室～授業で使える映像教材～(水と世界・ルワンダ・国際協力) 10. JICA の開発教育支援事業とは <https://www.youtube.com/watch?v=WJZ4v26syhk>
国際協力とは何か、JICA 事業について知ることができる動画です。(4分 42 秒)
|
●生徒のひろば
<https://www.jica.go.jp/cooperation/learn/student/index.html>
「生徒のひろば」では、国際協力活動や世界の課題、そして私たちと世界とのつながりや世界の多様性を知る上でヒントとなる様々なパンフレットや映像、JICA の施設等を紹介しています。
- 2) 事前に出来る限り研修員の出身国や異文化・多文化理解に関する学習をしていただき、交流プログラムが効果的に実施されるように企画してください。児童・生徒が異文化理解や開発途上国へ関心を持つきっかけとなるよう、事前・事後学習を含めた総合的なプログラムの中に位置づけていただくことを推奨しております。
- 3) 事前・事後学習の取り組みとして、元 JICA 海外協力隊員が途上国の現状や活動内容を紹介する「JICA 国際協力出前講座」、JICA 北海道(帯広)内を見学する「センター訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。詳細につきましては、添付資料、及び JICA 北海道(帯広)ホームページをご覧ください。
<https://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/index.html>

7. 訪問先範囲

十勝管内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等です。

8. 訪問日と訪問時間

- 1) 「申込用紙 B 2026 年度 JICA 研修員学校訪問日程表」に記載されている5コースへの申し込みが可能です。なお、来日スケジュール・研修予定等の変更で、やむを得ず訪問予定日が変更または中止となる場合があります。
- 2) 研修コースによって、終日訪問が可能な場合や、午前中、午後のみの場合もございます。
詳しくは、申込用紙 B の学校訪問予定日時の一覧でご確認ください。

9. 訪問人数・JICA 研修員による国紹介資料等の準備

- 1) 研修員の訪問人数は 1 校に対して2～14名を予定していますが、最終的な訪問人数、出身国については突如の来日中止等により変更になる場合がありますのでご了承ください。
- 2) 研修員に出身国の概要や遊びなどを紹介してもらうことができますが、研修スケジュールの都合等で用意できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

10. 経 費

- 1) JICA に対して謝金は一切発生しません。また、原則 JICA 研修員及び同行者の交通費をご負担いただく必要はありません。
- 2) 給食交流を行った場合の給食費については、学校負担でお願いします。
- 3) 交流に必要となる消耗品や機材等については、学校側でご準備ください。
- 4) 学校側で通訳ボランティアを別途手配した場合の経費(交通費・給食費等)については、学校側でのご負担をお願いします。

11. 学校訪問応募から当日までの流れ

学校訪問に関する事務手続き・お問合せ等につきましては、本事業の委託先が担当します。事前の調整・当日の日程・プログラム作成・事前打合せ等につきましては、本事業の委託先から連絡させていただきます。なお、詳細につきましては訪問校に対して実施予定の「合同事前説明会」で説明させていただきます。

1)	募集	<p>5月8日(金)必着 JICA 北海道(帯広)のホームページでも公募します。 https://www.jica.go.jp/domestic/obihiro/activities/kaihatsu/1535066_2433.html</p> <p>また、十勝総合振興局内の小・中学校(各市町村教育委員会より配布)、高校・特別支援学校などに募集要項を周知します。</p>
2)	申込	<p>申込用紙 A、B、C に必要事項をご記入の上、担当者まで郵送またはFAX、Eメールで送付してください。 ※申込用紙の記載内容についてご不明な点は、十勝インターナショナル協会の担当者(加藤)までお問い合わせ下さい。(「JICA 研修員学校訪問に関する問合せ」参照)</p>
3)	訪問校の決定	<p>応募書類をもとに訪問先の学校を決定させていただきます。 結果の通知は 5月22日(金)頃を予定しています。</p>
4)	事前説明会 (※任意参加)	<p>5月29日(金)16:00～予定 学校訪問実施が決定した学校の担当者を対象に、JICA 北海道(帯広)にて合同事前説明会を実施します。学校訪問当日に交流プログラムを担当する方向けに、実施までの流れや過去の事例等をご紹介します。</p>
5)	企画書の提出	<p>実施日の約1か月前～1か月前</p> <p>学校担当者より日程案・計画を Eメールで提出していただきます。提出日については、研修コースのスケジュールによって前後しますので、事前にお知らせいたします。 企画書は JICA 北海道(帯広)のホームページでもダウンロード可能です。 https://www.jica.go.jp/domestic/obihiro/activities/kaihatsu/1535066_2433.html</p> <p>なお、前述のとおり、研修コースのスケジュールによっては、研修員による国紹介などができないコースもありますのでご注意ください。 <u>※上記リンクには、過去の実施例も掲載していますので、企画書作成の参考にご覧ください。</u></p>
6)	事前打合せ	<p>プログラム内容の調整や当日の確認を行います。担当職員と対面式の打ち合わせをご希望される場合は JICA 北海道(帯広)で行いますが、遠方の学校や、日程調整が難しい場合は、電話やメール、Zoomでの対応も可能です。</p>
7)	事前学習	<p>学校訪問の交流準備や調べ学習、JICA が提供する映像教材の視聴等。 JICA 国際理解教育教材の貸出(写真パネル・民族衣装等)や JICA 図書資料室の利用、「JICA 国際協力出前講座」、「JICA 北海道(帯広)センター訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。</p>
8)	JICA 研修員学校訪問当日	
9)	事後学習	<p>振り返りや学習した内容のまとめ等。 JICA 国際理解教育教材の貸出(写真パネル・民族衣装等)や JICA 図書資料室の利用、「JICA 国際協力出前講座」、「JICA 北海道(帯広)センター訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。</p>
10)	報告書の提出	<p>「JICA 研修員学校訪問報告書」(1か月以内)の提出</p>

12. 訪問校の決定方法

申込多数の場合、提出書類を審査し、訪問校を決定します。
より多くの学校に JICA 研修員との交流の機会を提供するため、受入実績のない学校を優先する場合があります。

13. 応募受付期間: 2026 年 4 月上旬～2026 年 5 月 8 日(金) 必着

14. 申込用紙 A(両面)、B、C の送付先

下記申込先までいずれかの方法でお申送ください。

【郵送】

〒080-2470

帯広市西 20 条南 6 丁目 1 番地 2 森の交流館・十勝内
十勝インターナショナル協会 加藤 かおり

【FAX】

0155-41-4100

【E-mail】

tia1996▲t-i-ajp

※▲を@に換えたものが正式なメールアドレスです。メール送付の際は置き換えてご送付ください。

15. 訪問先決定連絡予定日: 2026 年 5 月 22 日(金) ※全ての応募校に結果を通知します。

16. 事前説明会: 2026 年 5 月 29 日(金) 16:00～予定

※選考された学校のご担当者様に別途ご案内します。

JICA 研修員学校訪問に関する問合せ

十勝インターナショナル協会:(担当者直通)加藤かおり

TEL:0155-41-4100 FAX:0155-41-4100

(電話による問い合わせの受付時間 13:00～18:30 (土・日・月・祝祭日休))

E-mail:tia1996▲t-i-ajp

※▲を@に換えたものが正式なメールアドレスです。メール送付の際は置き換えてご送付ください。

JICA 事業及び、国際理解教育事業全般に関する問合せ

JICA 北海道(帯広):中村、五十嵐

〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2

TEL: 0155-35-1210 FAX:0155-35-1250

E-mail : obihiro_event▲jica.go.jp

※▲を@に換えたものが正式なメールアドレスです。メール送付の際は置き換えてご送付ください。